

白浜町 議会だより

No.48

平成30年(2018)5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



ドキドキするね！今日から1年生（白浜第一小学校入学式）

CONTENTS

■ 新議会の構成	P. 2 ~ 3
■ 平成30年第1回定例会等	P. 4 ~ 6
■ 一般質問	P. 7 ~ 11
■ 予算審査特別委員会	P. 12 ~ 13
■ 討論のあった議案	P. 14 ~ 15
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 16

議長に西尾智朗議員
副議長に堀匠議員

にしおともあき
ほりたくみ



西尾 智朗 議長



堀 匠 副議長

平成30年3月18日に執行された白浜町議会議員選挙後の初議会（臨時議会）を、4月5日、6日に開催しました。この臨時議会は、議案審議のほかに、議会の内部構成を決めるためのもので、正・副議長の選挙を行い、議長に西尾智朗氏、副議長に堀匠氏を選出したほか、常任委員会等の構成を決定しました。

就任のご挨拶 白浜町議会議長 西尾 智朗

今般、白浜町議会議長の重職に就任いたしました。全国的に人口減少が進むなか、地方議会が果たす役割も、ますます大きなものとなっています。今後とも、地方自治の進展や観光施策の推進、住民福祉の向上に、更なる努力を傾注する覚悟です。住民の皆さまの一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【各委員会構成等】

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	総務文教厚生	◎長野 ○松田 楠本 西尾 丸本 小森 水上
	観光建設農林	◎辻 ○堅田 堀 南 正木 廣畑 溝口
議会運営委員会		◎水上 ○溝口 堀 楠本 辻 長野
議会広報特別委員会		◎南 ○小森 正木 松田 水上 廣畑
白浜町監査委員		溝口
一部事務組合	公立紀南病院組合議員	西尾 堀
	田辺周辺広域市町村圏組合議員	西尾 堀
	紀南環境広域施設組合議員	西尾 堀
	富田川衛生施設組合議員	西尾 堀 丸本 水上
	大辺路衛生施設組合議員	西尾 堀 長野
	富田川治水組合議員	楠本 廣畑 溝口 長野
	紀南地方老人福祉施設組合議員	西尾
	紀南地方児童福祉施設組合議員	西尾
各種委員	後期高齢者医療広域連合議員	西尾
	富田共有財産組合委員	西尾
	都市計画審議会委員	辻 長野
	入学就学奨励金審査委員会委員	長野

白浜町議会議員



議席番号 1
ほり たくみ
堀 匠 (59)
無所属 (白浜)



議席番号 2
くすもと たかのり
楠本 隆典 (75)
無所属 (椿)



議席番号 3
みなみ かつや
南 勝弥 (73)
無所属 (白浜)



議席番号 4
にしお ともあき
西尾 智朗 (66)
無所属 (日置)



議席番号 5
まるもと やすたか
丸本 安高 (65)
日本共産党 (市鹿野)



議席番号 6
まさき ひでお
正木 秀男 (66)
無所属 (白浜)



議席番号 7
かたた あつし
堅田 府利 (52)
無所属 (堅田)



議席番号 8
まつだ たけはる
松田 剛治 (51)
公明党 (才野)



議席番号 9
こもり かずのり
小森 一典 (43)
無所属 (日置)



議席番号 10
みずかみ くみこ
水上 久美子 (66)
無所属 (白浜)



議席番号 11
つじ せいし
辻 成紀 (60)
無所属 (安宅)



議席番号 12
ひろはた としお
廣畑 敏雄 (64)
日本共産党 (中)



議席番号 13
みぞぐち こうたろう
溝口 耕太郎 (58)
無所属 (保呂)



議席番号 14
ながの そういち
長野 莊一 (64)
無所属 (椿)

○議員任期

平成30年3月26日～平成34年3月25日

○議員定数

14人

(年齢は4月1日現在です。)

平成30年第1回定例会

2月6日～23日

平成30年度当初予算を可決

白浜町議会平成30年第1回(2月)定例会は、2月6日招集、18日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、専決処分1件、条例改正等16件、一般会計および特別会計補正予算3件、平成30年度当初予算関係10件、その他の案件8件でした。

本定例会において、議会運営委員長から「白浜町議会の議決すべき事件を定める条例」の一部改正案を提出し、「白浜町長期総合計画における基本構想の策定に関すること」を、議会の議決すべき事件に追加しました。

平成30年度当初予算関係議案10件は、予算審査特別委員会で審議を行い、本会議で委員長から審査結果報告を受けた後、反対討論もありましたが、すべて可決しました。

定例会2日目には一般質問が行われ、5議員が登壇し、町長および教育長に質問しました。

□平成30年度一般会計予算

予算総額

110億7千900万円

主な事業等は次のとおりです。

(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・減債基金積立金

5千万円

・庁舎等整備基金積立金

5千万円

・紀伊日置駅駐輪場整備事業

550万円

・津波避難路整備事業

670万円

【民生費】

・ねんりんピック推進事業

1千220万円

・とんだ幼児園アレルギー食対応調理室整備事業

1千500万円

・ひとり親家庭医療扶助事業

2千489万円

【農林水産業費】

・大井堰魚道改修事業

1千万円

・県営ため池等整備事業

1千200万円

・南紀白浜水産資源販路拡大事業
950万円

・漁港機能保全事業
630万円

【観光費】

・白良浜周辺等海洋活用事業

1千万円

・観光振興施設購入事業

2千500万円

・白浜観光推進事業

4千330万円

【土木費】

・町道空港湯崎線改良事業

1億3千462万円

・町営住宅公園等改修事業

1千370万円

【消防費】

・高規格救急車更新事業

3千150万円

□条例改正等

○白浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町特別会計設置条例の一部を改正する条例について

白浜町住宅資金貸付事業特別会計を廃止することに伴い、関係規定を改正

○白浜町立住民交流センター条例の一部を改正する条例について

国土調査により白浜町立住民交流センター及び白浜町立田野井会館の地番に変更が生じているため、関係規定を改正

○白浜町テニスコート条例の一部を改正する条例について

国土調査により白浜町テニスコートの地番に変更が生じているため、関係規定を改正

○白浜町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

高齢者の医療の確保に関する法律等の改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法等の改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町ごみ処理施設条例の一部を改正する条例について

日置川ごみ焼却場を廃止するため、関係規定を改正

○白浜町地域産物展示販売施設条例の一部を改正する条例について

国土調査により白浜町地域産物展示販売施設の地番に変更が生じているため、関係規定を改正

○緑の雇用担い手住宅管理条例の一部を改正する条例について

国土調査により緑の雇用担い手住宅の地番に変更が生じているため、関係規定を改正

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町高齢者生活支援手当の支給に関する条例を廃止する条例について

平成30年3月31日で白浜町高齢者生活支援手当を廃止することに伴い、関係規定を廃止

○白浜町火災予防条例の一部を改正する条例について

消防法令等の規制強化等に伴い、関係規定を改正

○白浜町立保育園条例の一部を改正する条例について

国土調査により一部の白浜町立保育園の地番に変更が生じているため、関係規定を改正

○白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等を廃止する条例について

地域密着型サービス事業者等の指定、指導等に関する事務を田辺市に委託することに伴い、関係規定を廃止

○白浜町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部

改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例について

議会の議決すべき事件に、白浜町長期総合計画における基本構想の策定に関するものを追加するため、関係規定を改正

□補正予算

○平成29年度白浜町一般会計補正予算(第7号)

既定の歳入歳出予算の総額に1億660万円を追加し、歳入歳出予算総額を117億2千383万3千円とする。

主な補正内容は次のとおりです。

(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・ 地籍調査事業

7千111万円

【民生費】

・ 障害者自立支援給付費等事業

2千997万円

・ 保育園委託事業

235万円

【衛生費】

・公立紀南病院組合負担金

486万円

【土木費】

・県営急傾斜地崩壊対策事業等負担金

557万円

【災害復旧費】

・道路災害復旧事業

332万円

□白浜町と田辺市との間における地域密着型サービス事業者等の指定、指導等に関する事務の委託に関する協議

平成30年4月1日から、地域密着型サービス事業者等の指定、指導等に関する事務を田辺市に委託する。

□固定資産評価審査委員の選任

次の方を同意しました。

(敬称略)

- ・日高 明宏(白浜)
- ・堅田 紀代美(堅田)
- ・三角 孝(矢田)

□土地の処分

【処分地】

白浜町才野1633番35

外2筆

5千824・70平方メートル

【契約の相手】

和歌山市小松原通一丁目1番地

和歌山県知事 仁坂 吉伸

【価格】

757万2千110円

【目的】

白浜温泉線道路改良工事に必要な土地であるため。

□土地の貸付

【貸付地】

白浜町2927番1 外11筆

40万7千572平方メートル

【貸付期間】

平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで

【貸付金額】

884万6千460円(年額)

【貸付先】

白浜町2927番地の1

白浜開発株式会社

代表取締役 田中 進

平成30年第1回臨時会

白浜町議会平成30年第1回(4月)臨時会は、4月5日招集、2日間の会期で開催しました。新しい議会の内部構成を決定したほか、当局から提案された案件について審議し、それらすべて可決、承認、同意しました。

□補正予算

○平成30年度白浜町土地取得特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に2千430万円を追加し、歳入歳出予算総額を5千430万円とする。

□第2次白浜町長期総合計画基本構想の策定

平成30年度から平成39年度にかけてのまちづくりの目標を明らかにし、その実現に向けて住民と行政の共通の指針となる計画を策定。

□白浜町監査委員の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

- ・吉田 進(中)
- ・溝口 耕太郎(保呂)

□白浜町教育委員会委員の任命について

次の方を同意しました。

(敬称略)

- ・榎本 幸夫(白浜)
- ・松場 晃代(堅田)

□富田共有財産組合委員会委員の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

- ・西尾 智朗(日置)

□白浜町副町長の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

- ・林 一勝(才野)



みずかみ くみこ 議員
水上 久美子 議員
(一問一答)

・庁舎の建て替えと図書館建設について

問 役場本庁舎は耐震改修で多少延命化ができたが、旧構造で大規模災害時に対策本部としての機能を果たせないのではないか、混乱が予想できる。大規模災害に対応できる安全・安心な町の拠点として、新庁舎建設基金も積み、建設予定地も審議するとしていたが、進捗と全体構想の素案はあるのか。

答 現在、庁舎等整備基金積立金として毎年積み立てをしているが、地域や社会情勢の変化もあるので、新庁舎の建設予定地の選定や全体構想については、状況を十分見極めながら着手していきたい。

問 現庁舎の見直しや新庁舎の建て替えで、延床面積の縮減やランニングコストの削減になるのではないかと。検証結果や試算について伺う。

答 現庁舎の使用を続けるうえでは、老朽化にともなう修繕費や設備の改修費用等がかかってくる。新たに建て替えることによって、そういった費用が削減可能と考えている。

問 町立図書館は本館と白浜、富田、日置川分室があるが、どこも老朽化、狭隘化が進み、図書館の機能に必要な資料・職員・施設の基本的な3要件が満たされていない。

平成19年12月に町立図書館の早期建築を求める請願が採択され、町に大きな期待を持った。平成20年12月に白浜町立図書館基本構想、白浜町図書館検討委員会の設置、平成26年2月に白浜町立図書館整備基本構想を策定したが、請願採択から10年経ても民意がなかなか届かず、遅々として進まない。

公立図書館は、図書館法

に基づいて、人々の知る権利と個人の学ぶ自由を無料で保障し、町民がいきいきとした生活を営むためのまちづくり、ひとづくり、地域文化の拠点および情報センターとして、町民の暮らしに大切な地域に欠かせない基本施設と基本構想にあるが、現在の進捗と今後についての考えをはっきりと伺う。

答 新図書館の早期完成を目指していかねければならないと考えている。図書館整備基本構想を基に、昨今

の情勢、諸条件の変化を見極めながら、図書館の単独の建設が良いのかも含め、庁内で検討していきたい。

問 庁舎や図書館建設について、複合施設構想を提言してきたが、全国自治体では成功事例もある。考えを伺う。

答 庁舎建設予定地の場所や面積によっても変わってくると思うが、今後、新庁舎建設の検討を進めるなかで、提言を踏まえ、適正に判断していきたい。



(老朽化と狭隘化が進み整備が求められる町立図書館)

・農林業の振興について



三倉 健嗣 議員
(総括)

問 農林業の振興については、現在の長期総合計画や第2次長期総合計画のなかで、地域資源を生かした活力あるまちづくりと題して、農林水産業の振興、地域産業の活性化について示されている。取り組み方は第1次産業における産品の高付加価値化や担い手の確保と育成、地域資源の最大活用の産業振興とある。

問 町はどの1次産品にどのような形で加工改良し、付加価値をつけていくのか。加工や商品化には加工用の施設等が必要と考える。また、事業化には設備資金が必要であるが、補助政策についての考えを伺う。

答 農業者が利用できる融資制度として、農業近代化資金や生活営農資金等、すでに据置期間が設けられている融資制度が多数あり、町でも利子補給制度を設けているので、そういった既

存の融資制度を有効に利用してもらいたい。

問 第3セクター方式で法人格を設立して進めることもひとつの方法であるが、農業を志すやる気のある人材に対して独自の補助政策により事業ができないか。

答 農業は個人経営が多く、多くの額を個人に補助するということはどうかと思いが、町費を農業に費やすことを惜んでいるわけではない。法人の立ち上げ

等も視野に入れながら、農協や県の農政部門にも相談しつつ進めていきたい。

問 鳥獣害の多い現状で、柑橘果樹の栽培ではなく、ハウスによる施設農業に取り組み、高価格作物の栽培を手がけていくことはできないか。

答 施設農業等で付加価値を高めるには、それに取り組む人材が必要である。付加価値を高めて成功している農業者もいるので、農業

者の皆さんと資金面等いろんな相談をしながら考えていきたい。

問 川添茶の特産化と後継者について、生産農家の高齢者割合が極めて高い。20代から40代の生産者がいないと聞く。お茶の生産や製造工程においては、長年の経験と高度な技術が必要であり、早急な対応が望まれるが、対策について伺う。

答 後継者不足は、川添茶のみならず第1次産業共通の課題である。関係者からは法人化による6次産業化の話も聞いている。川添茶は町の貴重な資源なので、どうにかして残せるよう協力していきたい。



(深刻な後継者問題を抱える
特産品川添茶の茶畑)

※このほか、三倉議員は防災対策について、道路整備について質問しました。



ひろはた としお 議員
廣畑 敏雄
(一問一答)

- ・介護保険について
- ・防災について
- ・生活保護の引き下げについて

問 介護保険における新総合事業の変更点を利用者は、理解しているのか。

答 全員が以前と同じ事業所による同様のサービス提供を受けており、自己負担についても、多くの利用者は制度の違いを感じることなく利用している。

問 今後の高齢化や利用料のアップで、利用額が上限額を超えた場合、独自に財源を措置するのか。

答 高齢化や利用料のアップで、総合事業費が上限額を超える場合は、町からの繰入が原則となっている。

問 高齢者の尊厳と権利を守る介護保険となるよう「自立支援」を押し付けなような取り組みが必要と思うがどうか。

答 自立支援型地域ケア個

別会議等による自立支援のための施策は、町において実施予定はない。一般介護予防事業等による健康寿命の延伸に取り組んでいく。

問 第7期介護保険料基準額に関して、これ以上の住民負担は限界であり、国に負担軽減を求めるべきと思うがどうか。

答 給付費の国費負担のうち5%が調整財源とされている分について、外枠での算定とするよう、今後も引き続き国に要望していく。

問 富田川と高瀬川にはさまれた地域には、避難タワーが必要ではないか。

答 津波避難困難地域は富田川口地区にあたり、避難タワーが富田川口地区以外に、設置が必要であるのかどうか地元区とも協議していきたい。

問 今年の秋、生活保護費が引き下げられようとしている。一般国民の所得が下がるなか、貧困ラインが下がり、ますます貧困の実態が改善されない。どう考えているか。

答 生活保護の具体的な見直し内容がわからないため、県や近隣市町の動向も踏まえつつ、必要に応じて対策を検討していきたい。

問 G7の中で日本は生活保護の補足率が極端に低く、生活保護は恥という意識がある。こうしたことの解消について、しっかり啓発しなければならぬと思うがどうか。

答 民生委員や町の関係部署等との連携を密に行っていくとともに、わかりやすい啓発をし、必要な人に、必要なサービスを提供できるように取り組んでいきたい。



(富田川と高瀬川に挟まれた三角地帯)



ふるくほ けいぞう 議員
古久保 恵三 (一問一答)

・一般質問 4年間の総括。その後の行政の対応と取り組みについて

問 ごみの中間処理施設は一度目の延長において、町の対応のまずさから多大な迷惑をかけたが、現在、地域の皆さんの理解にて運営されている。公害防止協定は両区の連名になっていないが、その後の対応と経過を伺う。また、延長に対する取り組みはどうか。

答 ごみの中間処理施設の必要性、重要性、また公害防止等に対する町の考え方については、ご理解いただいていると考えている。今後も、真摯に、丁寧に説明し、皆さんのご理解をいただきながら進めていきたい。

問 下水道つなぎ込みに対するさらなる住民啓発と、大型宿泊施設の生活雑排水が、長年白良浜沖に処理されずに流されている現状に対し、行政指導の徹底ができないのか。

答 さまざまな接続促進活動を実施しているものの、なかなか成果に結びついていないが、今後もより一層啓発活動を行い、公共下水道へ接続してもらえように取り組んでいきたい。

問 白良浜の環境変化（黒砂化や中央部の高波）の原因調査の進捗と取り組みについて伺う。

答 浜中央部の高波については、砂の押し方を変えたことによりなくなり、改善できた。砂の黒色化も以前と比べ、沈静化している。

問 権現崎遊歩道の修復、整備についての問題点と見通しについて伺う。

答 現在は、通行止めの看板を設置し、対応している。遊歩道の整備は、国における優先順位も低いですが、計画をあきらめるのではなく、



(守っていききたいきれいな白良浜)

引き続き実現できるように協議していきたい。

問 JR白浜駅バリアフリー化にともなうエレベーター設置事業の現状と見通しについて伺う。

答 これまでJR西日本および県と適時協議を行ってきたが、事業の具体性をもたせるため、現在、基本計画策定に係る作業を進めて

いる。また、今後の見通しについては、本計画案をもとにJR西日本と協議を進め、早期に事業着手してもらえよう取り組みを進めていきたい。

問 第三天山源泉旧契約に基づき、供用開始されるが新たな契約では維持管理についてすべて公金負担となっている。営利目的の企業に対する赤字覚悟の行為は、町民に理解されると考えているのか。

答 源泉の所有者が町である以上、町が責任を持つて維持管理をしていきたい。そのための維持管理費を町が持つことは当然のことである。

※このほか、古久保議員は湯崎漁港整備工事について、ほか3件について質問しました。



まるもと やすたか
丸本 安高 議員
(一問一答)

・ 原発から出る使用済核燃料の 中間貯蔵施設について

問

先の12月議会で「国、県、事業者から中間貯蔵施設の話や申し出があった場合、話を聞くことになる」との答弁があり、地元地方紙で報道され、多くの町民が知るようになった。

また、福井県にある関西電力の大飯原発3、4号機が再稼働する見通しとあり、稼働されれば、原発で燃やされた使用済核燃料がさらに生まれることになる。しかし、関西電力の大飯、美浜、高浜原発の貯蔵プールは、すでに使用済核燃料で約7割が埋まっているとのことである。

和歌山県知事は、昨年8月の会見で、「核のゴミの最終処分場」については、明確に拒否の方針を表明しているが、中間貯蔵施設については、一昨年1月の会見で「打診はありえない」、「南海地震があるため、あまり適地でない」と述べている。

町長は、中間貯蔵施設について拒否の姿勢を示すどころか、申し出があった場合、話を聞くとのことである。施設の受け入れはしない、話し合いに応じないと言明し、住民のなかにある不安、不信を払拭するべきではないか。

町長は、中間貯蔵施設について拒否の姿勢を示すどころか、申し出があった場合、話を聞くとのことである。施設の受け入れはしない、話し合いに応じないと言明し、住民のなかにある不安、不信を払拭するべきではないか。

答

中間貯蔵施設についての考え方は、昨年9月、12月議会で答弁したとおりであるが、そのことに対して、不安を感じている町民がいるとの指摘を受けたので、誤解のないように丁寧に述べたいと思う。

決して中間貯蔵施設の受け入れに前向きな考えを持っていないわけではない。12月議会では、仮に国や電力会社から中間貯蔵施設に関する申し出等があれば、あくまでも形式的に話を聞くことになるかと答弁したところであり、決して受け入れを前提として話を聞くも

のではない。

また、現在、国や電力会社から中間貯蔵施設に対する申し出等は一切なく、中間貯蔵施設の受け入れにつ

いても私の頭の中にはない。このような重大な案件は、町民の理解と同意がなければ成り立たないものであると考えている。



(後世に残すべき日置川の豊かな自然)

▷▷ 予算審査特別委員会

平成30年度一般会計予算および特別会計予算等9件を審査するため、2月19日から21日までの3日間で、平成30年予算審査特別委員会を開催しました。

審査の過程では、「一般会計予算」についての修正案の提出や、「国民健康保険事業特別会計予算」、「介護保険事業特別会計予算」について、反対討論がありました。付託された10件は、すべて原案のとおり可決すべきもの、承認すべきものと決しました。

》》》》 当初予算（一般会計）の修正案を否決

議案第23号「平成30年度一般会計予算議定について」、古久保委員、南委員から、農林水産業費の水産業費、水産業振興費の委託料のうち、駐車場管理等業務委託料400万円を減額する修正案が提出されました。提出者の古久保委員から提案理由の説明を受け、質疑、討論を行った後、起立採決の結果、修正案は賛成少数により、否決となりました。

提案説明および討論の内容、採決の結果は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	採決結果	辻成紀	西尾智朗	古久保恵三	丸本安高	水上久美子	廣畑敏雄	三倉健嗣	長野莊一	岡谷裕計	南勝弥	玉置一	楠本隆典	堀匠
修正案	否決	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	/	×
原案	可決すべきもの	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	/	○

※委員長（楠本 隆典）は採決に加わりません。議長（溝口 耕太郎）は委員ではありません。

修正案提案説明要旨

（古久保委員）

駐車場管理等業務委託料400万円を削除する案である。この400万円については、昨年度から疑義をもっていた。この駐車場経営は毎年赤字が続いており、将来的にこの駐車場の経営について危惧しているところである。このようななか、駐車場管理等業務委託料として、400万円を入れている。これが理解できない。また、この事業内容について、昨年度も私なりに調査したが、有効に使用されていない。業務が遂行されていない。経営者の姿勢もあるかと思うが、その辺が目にあまる思いがある。この400万円は、町民の目線からしても理解しにくいという思いで、400万円を減額する修正案を提出する。

原案への賛成討論要旨

（長野委員）

この施設は町営の駐車場施設であり、本来であれば、1年間を通して、町が全てにおいて対応しなければならぬ。この業務を町職員が行うことは困難であり、委託することにより、管理を円滑に行うことができる。これらの予算を減額し、駐車場は誰が管理をするのか。日常業務において駐車券の回収やトラブル時の対応等も行なわれていると聞く。管理者がいなければ、日常時に加え、繁忙期の対応ができなくなり、さまざまな問題が生じる。これらを整理対応するには、管理する人員が必要である。このことを考慮すれば、駐車場管理等業務委託料を予算に計上し、駐車場の管理業務をお願いすることは当然であると考える。

修正案への賛成討論要旨

(南委員)

フィッシャーマン関連で事後検証をしているかどうかの質問に対し、検証しているが公表はしていない。結果を次年度予算に反映するよう努力しているとの答弁があった。駐車場の売り上げが少ないのに、多額の経費をかけている。今の経営では、経費削減が不可欠である。別の警備会社に委託すれば、700万円以上かかるが、隣接する株式会社フィッシャーマンに委託すれば、400万円程度で済むということだが、料金の負担が生じないなら、それなりの受益があるので、無償でお願いすべきである。すさみ町等の道の駅も駐車場清掃業務は無償であり、そういう条件での管理委託をしている。予算をゼロにすべきだと考える。

》》 討論のあった議案

議案第24号「平成30年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定について」、議案第26号「平成30年度白浜町介護保険事業特別会計予算議定について」の2議案では、質疑の後、廣畑委員が反対討論を行いました。起立採決の結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものとなりました。討論の内容、採決の結果は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	採決結果	辻成紀	西尾智朗	古久保恵三	丸本安高	水上久美子	廣畑敏雄	三倉健嗣	長野莊一	岡谷裕計	南勝弥	玉置一	楠本隆典	堀匠
議案第24号 「平成30年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定について」	可決すべきもの	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	/	○
議案第26号 「平成30年度白浜町介護保険事業特別会計予算議定について」	可決すべきもの	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	/	○

※委員長(楠本 隆典)は採決に加わりません。議長(溝口 耕太郎)は委員ではありません。

議案第24号

反対討論要旨(廣畑委員)

平成30年度から県に一本化されるということである。しかし、政府の医療等の社会保障の減額は、1千300億円を超えるわけである。このようななか、この一本化で保険料が低減されるということであるが、短期的な方向ではなく、長期的に見て、住民の声を反映できる、そういう一本化であるのかと疑問符がつく。さらなる低所得者に対する低減も求めながら、この一本化に対する当初年度の予算について反対する。

議案第26号

反対討論要旨(廣畑委員)

町として予算を組んでいるが、認知症患者をどう地域で支えていくのか、要支援1,2の対象者を介護保険の給付か

ら、今後外していくという問題がある。そして、創設当時月3千数十円の介護保険料、これが基準額である。これが、今年度の町の予算では、6千円あまりで倍になる。この負担が住民に押しつけられていくと思うわけである。それから、町独自で条例を制定していた高齢者生活支援手当が廃止された。やはり高齢者、低所得者に対する介護保険、もっと手当てをするところがあるのではないかと、こうした憤りがある。

提案できなかつたのかという思いもある。もつと国へ向いて申したいかなければいけないし、町としてできることは、低所得者、高齢者に対する軽減をしていくべきではないかということ、この議案について、反対する。

▶▶ 討論のあった議案

定例会3日目の議案審議において、議案第17号「白浜町高齢者生活支援手当の支給に関する条例を廃止する条例について」、議案第18号「白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について」の2議案に対して、質疑を行った後、丸本議員および廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により可決しました。

また定例会4日目には、予算審査特別委員会での審査結果報告を委員長から受けた後、議案第23号「平成30年度白浜町一般会計予算議定について」、議案第24号「平成30年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定について」、議案第26号「平成30年度白浜町介護保険特別会計予算議定について」の3議案に対し、丸本議員および廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により可決しました。

採決の結果とそれぞれの討論の要旨は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	議決結果	辻	西尾	古久保	溝口	丸本	水上	廣畑	三倉	長野	岡谷	南	玉置	楠本	堀
		成紀	智朗	恵三	耕太郎	安高	久美子	敏雄	健嗣	莊一	裕計	勝弥	一	隆典	匠
議案第17号 「白浜町高齢者生活支援手当の支給に関する条例を廃止する条例について」	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 「白浜町介護保険条例の一部を改正する条例について」	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 「平成30年度白浜町一般会計予算議定について」	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 「平成30年度白浜町国民健康保険事業特別会計予算議定について」	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号 「平成30年度白浜町介護保険特別会計予算議定について」	可決	○	○	○	/	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長（溝口 耕太郎）は採決に加わりません。

議案第17号

反対討論要旨（丸本議員）

高齢者生活支援手当の制度は、被保険者の生活の安定と福祉の向上を図るのが目的とある。支給対象者の割合が増えてきており、高齢者の貧困が進んでいることが見てとれる。今回の条例改正は、財政を理由に制度が廃止される。町民に喜ばれ、利用されてきた制度を切り捨てることになる。福祉の低下につながると思うので、反対する。

議案第18号

反対討論要旨（廣畑議員）

この議案の介護保険料基準額、年額7千200円の値上げについて、取り組みを評価すべきこともあるが、多くの被保険者、とりわけ高齢者にとって、年金額の減額があるなかでは、生活にも耐えがたいものと認識している。したがって、この議案に反対する。

議案第23号

反対討論要旨(廣畑議員)

まず、高齢者生活支援手当の廃止がある。低所得高齢者の介護保険料を半額にする制度ができたことが理由だが、こども医療費無料制度の拡充等は、国の制度でなくても実施している。それなら、年金削減等で苦しむ高齢者を守る制度を継続してもおかしくない。

農林水産業費の駐車場管理委託料は、これまでの経緯等から認めるわけにはいかない。

教育費は図書館新設の進展がみられない予算となっている。学校等の公共施設の耐震化も急がなければならぬ。

町税の滞納に関し、本来、年金や給料はある程度の金額を除いて差し押さえ禁止財産である。住民の暮らしを破壊するようなことをやめるべきである。以上のような指摘をして、反対する。

議案第24号

反対討論要旨(廣畑議員)

政府は国保財政支援の強化を図るとしているが、市町村独自の法定外繰入が削減されれば、高すぎる保険料、税の値上げにつながりかねない。給付費削減を行った自治体に、予算を重点配分する保険者努力支援制度等が含まれ、保険料、税が増加されていくことを危惧する。したがって、この予算案に反対する。

議案第26号

反対討論要旨(丸本議員)

2000年に介護保険制度が始まり、この間、保険料が約2倍になっている。国民年金のみで生活している高齢者や低所得者層にとって、介護保険料の負担がどれだけ厳しいか。住民税非課税者も高い介護保険料を支払わなくてはいけない。保険料の値上げを計上した予算案に反対する。

本会議の録画配信!!

* 録画配信とは

議場で行われる本会議の定例会、臨時会の様子を録画、録音したものをインターネットを通じて、配信するものです。傍聴にお越しになれない方等に、手軽に議会の様子を見ていただくため、直近の議会の様子を配信しております。

* 方法

町ホームページの白浜町議会のページから、直近の定例会等の映像をご覧ください。登録等は不要で、インターネットの回線があればどなたでもご覧いただけます。録画配信をご覧になるには、Adobe社のAdobe Flash Player(無償)のインストールが必要です。(※スマートフォン等の携帯端末には対応していません。)

1. 白浜町ホームページ

⇒ 2. 中ほどにある「白浜町議会」をクリック

⇒ 3. 「議会録画配信」をクリック

白浜町ホームページアドレス <http://www.town.shirahama.wakayama.jp/>

町議会・町議会議長の主な動き (1月1日～3月31日)

1月4日	成人式 新年祝賀会
5日	消防出初式
6日	交通安全年頭式
11日	議会広報特別委員会
15日	田辺市周辺広域市町村圏組合視察研修 (東京都)
18日	市町村対抗ジュニア駅伝選手団結団式
19日	全員協議会
24日	山口県周南市議会政務調査来庁
25日	和歌山県後期高齢者医療広域連合説明会
30日	議会運営委員会
2月1日	県町村議会議長会議、副議長研修会(みなべ町)
2月2日	富田共有財産組合委員会
5日	第1回定例会(第1日)
6日	全員協議会
13日	田辺周辺広域市町村圏組合議会
14日	県議長会臨時総会
15日	第1回定例会(第2日)
16日	第1回定例会(第3日)
17日	堅田保育園50周年合同式典
19日	予算審査特別委員会
20日	予算審査特別委員会
21日	予算審査特別委員会

議会開催予定のお知らせ

次回の定例会は

**6月5日(火)から
6月20日(水)**

まで開催予定です。

詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせ下さい。
(TEL 43-6591)

3月1日	西牟婁地方老人福祉施設組合議会
3日	スポーツ奨励賞表彰式
5日	富田川治水組合議会
8日	中学校卒業式
19日	幼稚園卒園式
22日	小学校卒業式
26日	新議員説明会
28日	議員懇談会
23日	第1回定例会(第4日)
26日	公立紀南病院組合議会
28日	大辺路衛生施設組合議会
22日	富田川衛生施設組合議会

編集後記

青空に新緑が映え、鯉のぼりが力強く泳ぐ季節を迎えました。夏の行楽シーズンを前に、観光客を迎える準備が着々と進められています。

さて、今回の議員選挙により、新しく議会広報特別委員会が構成されました。

この議会だよりで町民の皆さんに議会の活動等を幅広く知っていただけるよう、委員一同、誠心誠意取り組みまいりますので、よろしく願います。

また、ご意見等ございましたらお寄せいただければと思います。

議会広報特別委員会

委員長	南 勝弥
副委員長	小森 一典
委員	正木 秀男
委員	松田 剛治
委員	水上 久美子
委員	廣畑 敏雄